

第 29 回日本国際保健医療学会学術大会

The 55th Annual Meeting of the Japanese Society of Tropical Medicine and the 29th Annual Meeting of the Japan Association for International Health

Human Resource Development in the Age of Public-Private Partnership



プログラム抄録集
Program and Abstracts

ミニシンポジウム 13

中米シャーガス病対策の経験と教訓－理想と現実の融合

ファシリテーター

上田 直子 (JICA 青年海外協力隊事務局 アジア・大洋州課課長 (保健医療職種担当))

演者 1: 橋本 謙 (ハーバード公衆衛生学院フェロー、元 JICA 中米シャーガス病対策広域アドバイザー)

JICA 中米シャーガス病対策プロジェクトの概要

演者 2: 吉岡 浩太 (長崎大学国際健康開発研究科助教、元 JICA ニカラグア・シャーガス病対策プロジェクト専門家)

ニカラグア国内における成果と教訓

演者 3: 橋場 文香 (JICA 青年海外協力隊員 (ニカラグア、感染症対策))

シャーガス病対策の現場から

シャーガス病はサシガメという昆虫を媒介とする寄生虫症で、中南米に広く分布している。JICA は 1991 年よりグアテマラで熱帯病研究プロジェクトに着手して以来、2000 年より順次グアテマラ、ホンジュラス、エルサルバドル、ニカラグアの 4 か国でシャーガス病対策への技術協力プロジェクトを展開してきた。本年 8 月、ニカラグア・プロジェクトの終了に、もない、長年にわたった中米シャーガス病対策への JICA の協力は幕を閉じた。

本ミニシンポジウムの目的は、上記技術協力から得られた成果や教訓の共有である。媒介虫の生息状況、ヒトの感染状況などのデータを交えつつ、保健システムが脆弱でリソースが慢性的に不足している中米各国で、優先度が低かったシャーガス病対策をどのように進めてきたか、プロジェクト・マネジメント、各国保健省の能力強化、途上国における人材育成、市民参加、国際機関との連携など、実践的な工夫や教訓を紹介する。発表は以下の 3 本立てとする。

まず、元広域アドバイザーがプロジェクト実施過程を中米レベルから俯瞰する。JICA プロジェクトは媒介虫対策に重点を置き、4 か国で共通の戦略を用い、顕著な成果を上げた。その戦略とは、準備フェーズ (媒介虫生息調査)、攻撃フェーズ (大規模な殺虫剤散布による駆除)、監視フェーズ (住民からの媒介虫生息の届出と保健省による対応) である。JICA プロジェクトでは、試行錯誤を重ねながら各国の保健システムに合わせて同戦略を展開した。結果として、中米レベルで外来種サシガメ (*Rhodnius prolixus*) による感染が中断し、この成果は PAHO/WHO による国際認定という形で結実した。在来種サシガメ (*Triatoma dimidiata*) の生息レベルも低下し、各国で同サシガメによる感染を最低限に維持するため、継続的な取り組みが続いている。

次に、ニカラグアのプロジェクト運営に関わった専門家が、同国での成果と教訓について発表する。ニカラグアでも他国同様の成果が得られ、外来種サシガメによる感染中断、在来種サシガメの監視体制構築を成し遂げた。ニカラグアは保健システムの地方分権、プライマリ・ヘルス・ケアの考えに根差した組織改編、コミュニティ保健ボランティアの行政活動への参加などが中米他国に比べて進んでいる。プロジェクトでは過渡期にあったニカラグアの保健システムに合わせて各種活動を進めた結果、プロジェクトサイトで実証したサシガメの監視システムは国家基準書に採用され、省令により全国展開が義務付けられた。

最後に、ニカラグアで活動中の青年海外協力隊員が、シャーガス病対策の現場から活動レポートを発表する。ニカラグア保健省の地方職員をカウンターパートとし、シャーガス病の認知度を高めるための活動を展開している。同僚が母子保健、予防接種、デング熱、政治活動など他の重要課題で多忙ななか、どのようにシャーガス病活動が続いているかなどを紹介する。以上のように、本プロジェクトは保健省の異なる行政レベルに日本人を配置し、相手国への支援を展開してきた。現場から中央まで、複層的なアプローチが顕著なプロジェクト成果を生む原動力となった。同時に、このようなプロジェクトの仕掛けは、途上国で実務に携わる日本人の育成にも大きく寄与した。今回のミニシンポジウムでは、演者による発表のあとに質疑応答を交え、感染症対策支援の実際に迫りたい。